

## 環境事業 お客さま・社会のカーボンニュートラルに向けたNECのGX(グリーントランスフォーメーション)事業

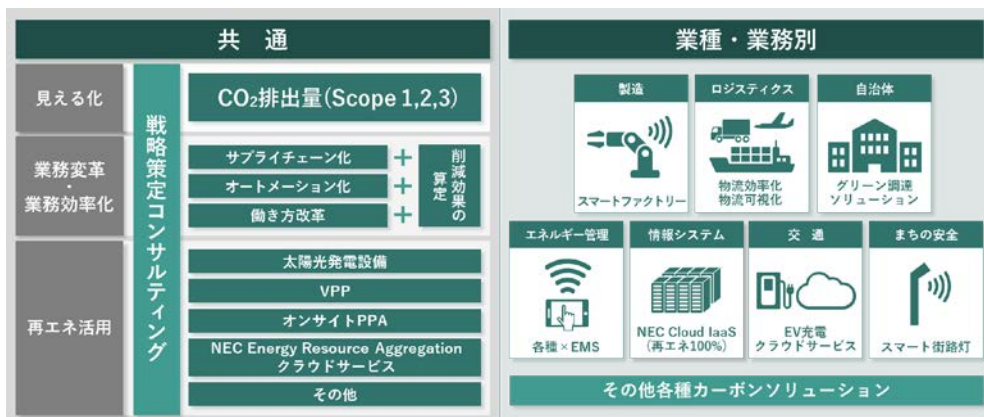
### 考え方

世界では、気候変動などの環境課題が私たちの安全・安心な暮らしやビジネスの継続に大きな影響を与えています。NECは、これまで培ってきたデジタル技術の強みを活かし、脱炭素社会やサーキュラーエコノミーの実現など、さまざまな環境課題の解決に貢献していきます。中長期的には、デジタルガバメントやコアDX、グローバル5Gなど中期経営計画の注力事業においてグリーン化を進めるとともに、リソースアグリゲーションなどカーボンニュートラル関連事業を強化し、規模を拡大していきます。

### NECの環境ソリューション

NECには、環境課題の解決に貢献する豊富なソリューションがあります。

特に脱炭素については、見える化、業務変革・業務効率化、再エネ活用の切り口や業種・業務別にさまざまなソリューションを展開しています。また、単独のソリューションに加えて、組み合わせやコンサルティングなどをとおして、さまざまな角度からお客さまに最適なソリューションを提案しています。図は、脱炭素への取り組みを支援するNECのソリューションを体系的に示したものです。CO<sub>2</sub>の見える化を起点に、お客さまの削減すべき領域や課題を明確にし、目標立案から達成まで、継続的にトータルで支援します。



### 環境ソリューション一覧

カテゴリ	ソリューション	概要
見える化	環境パフォーマンス管理ソリューション (GreenGlobeX)	CO <sub>2</sub> ・水・廃棄物などの環境データ収集、管理、見える化
認証/ 遵法対応支援	エネルギー・環境マネジメント・分析・レポート支援	ESG不動産を運営支援するためのエネルギー・環境管理の支援
省エネルギー	スマート街路灯	街路灯のスマート化による環境負荷や災害負荷を低減
	エネルギーソリューション	工場や事業所などの構築・設備の導入から全体最適のトータルエネルギーマネジメント
	ZEBソリューション	計画、設計、施工、運用管理までワンストップでZEB*化を支援 * Net Zero Energy Building
再生可能エネルギー/ 分散エネルギー	太陽光発電事業 (PPA)	オンサイトエネルギーサービス
	オフサイトPPA	オフサイトエネルギーサービス
	自家消費型再エネソリューション	適正な設備構築と運用を行う自家消費型の再エネソリューション
	太陽光発電×蓄電池システム	平時の脱炭素化や長時間の停電対策を実現するシステム
	需給調整ソリューション	リソースアグリゲーションサービス
	マイクログリッドシステム	分散型電源の利用による安定的な電力供給と地域間の停電対策を実現するシステム
適応	河川水位IoT監視システム	河川の水位観測設備の設置・保守、情報発信まで一元提供するシステム
	衛星通信システム	通信衛星を用いた放送システムや防災システムなど、構築から保守まで一貫提供するシステム
資源循環	セルロース系バイオプラスチック	セルロース由来の高機能バイオ素材 (NeCycle®)
	地域資源循環サービス	循環資源の回収状況や地域住民の参加状況を可視化し、資源エネルギーの地域内循環を促すサービス

■ 注力事業のグリーン化とグリーンICTインフラ

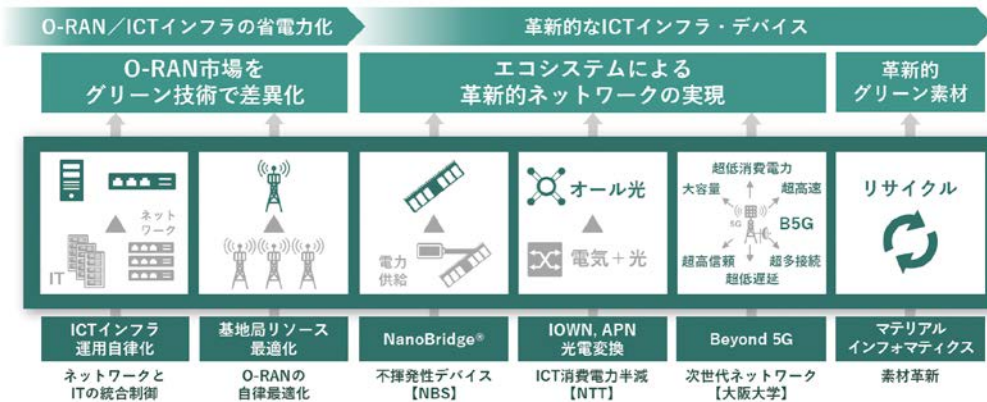
NECでは、中期経営計画の注力事業であるデジタルガバメント、デジタルファイナンス、コアDXやグローバル5Gにおいても、環境視点での価値提供を目指しています。また、ICTインフラのグリーン化に向けては、現在取り組んでいる、O-RAN/ICTインフラの省電力化に加え、IOWN構想に代表される革新的なインフラ・デバイスの開発を、パートナー企業や大学と連携しながら進めていきます。

注力事業のグリーン化  
カーボンニュートラル関連事業の強化・規模拡大



※RA：リソースアグリゲーション

革新的なグリーンICTインフラを実現



■ CO2見える化：環境パフォーマンス管理ソリューション～GreenGlobeX (GGX)～

NECでは、企業グループ(国内・海外)の工場やオフィスの環境パフォーマンスを効率的にマネジメントするソリューションとして「GreenGlobeX」をクラウドサービスで提供しています。環境データ収集を一元管理することで、目標管理やCO2排出量の見える化にもつながるとともに、これまでデータの収集・集計・進捗管理に割っていた工数を大幅に削減し、効率的な管理を実現できます。

また、従来は自社が排出するCO2量 (Scope1,2) の見える化がお客さまの課題でしたが、近年ではサプライチェーン全体でのCO2排出量 (Scope3) の見える化が課題となっています。こうした状況をふまえて、GGXにおいても、2022年度より段階的にScope3に関する機能強化を図っています。

導入実績

2012年の運用開始から、環境業務ノウハウやサポートの充実度が評価され、現在37社、国内外4,000拠点以上で運用中。

導入企業例

- 自動車部品メーカー
- 精密機器メーカー
- 化成部品メーカー
- 重工業メーカー
- 事務機器メーカー
- 食品メーカー
- 産業機械メーカー
- 石油卸業
- 飲料メーカー
- 電気機器メーカー
- 化学品メーカー
- 製薬メーカー

